

ご挨拶

気象研究所は気象庁の施設等機関として本庁と一体となって、防災や地球規模の気候・環境問題など気象業務に関連する研究、気象業務を支える基盤的な研究等、幅広い分野に亘って研究活動を実施し、気象業務の高度化に貢献してきております。

また、「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の活動や、「世界気候研究計画(WCRP)」、「観測システム研究・予測可能性実験(THORPEX)」などの国際的な取り組みにも積極的に参画し、関連する研究を積極的に推進しております。

これらの研究活動の成果を社会に広くお知らせすることは、国民に対する説明責任を果たし、研究開発に対する国民のご理解とご支援を得るために不可欠であります。このため、昨年度から従来の「研究発表会」を、気象庁の業務や国の施策に密接に関係するいくつかの重点研究課題の全体像をご紹介します「研究活動報告会」と、終了研究課題についてその研究成果を発表する「研究成果発表会」とに拡充改組し、研究成果の普及・広報活動の一層の強化を図ってきております。

「研究成果発表会」として再発足してから2回目を迎えます今年度は、発表会の一層の強化を目的に、今年度発生いたしました災害等に関連して緊急に実施致しました研究の報告を行うと共に、今後重点的に実施する研究項目に関する総合報告、業務化に直結する著しい成果が得られた研究等の成果についても積極的に発表することと致しました。

今回は、災害に関する緊急研究3課題、昨年度実施いたしました災害等に関係する緊急研究1課題、総合報告1課題、業務化関連の発表1課題、経常研究終了課題6課題の計12課題につきましてご報告いたします。課題の範囲は非常に広く、気象庁業務や国の施策に密接に関係する分野から、基盤的な研究分野をカバーしております。

研究成果発表会では学術的な視点を重視し、研究成果について専門的な議論を行い、我々が実施しております研究の今後の一層の発展と、研究のより効果的な実施を促進することを目的としております。関係の皆様におかれましては、今回の研究成果発表会を通じて、気象研究所の活動についてより深くご理解頂きますとともに、今後の一層のご支援をお願いして私の挨拶と致します。

気象研究所長
藤谷 徳之助